

ジレンマ

今日から5月です。バス停から清瀬中に歩道は、ハナミズキからツツジの季節になってきました。かたくなに花卉を広げる姿を観ると、応援してもらっているような気分になります。清々しい気持ちで、清瀬中の門をくぐることができます。花はいつでも私たちを見守ってくれています。



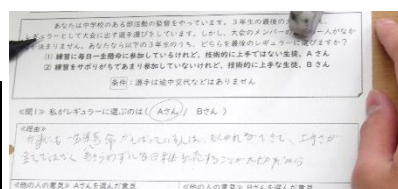
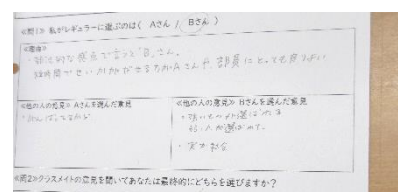
1日は全校朝礼でした。校長の話として、USJの業績をV字回復させた、森岡毅さんに対する、数年前のインタビューから、言葉を引用し進めました。導入に、森岡氏率いる“株式会社 刀”によるリニューアルによって、1988年をピークに入場者数が減少していた西武園ゆうえんちが、最近は盛り上がっているというので、その動画を使いました。スクリーンに映しだされたのは4月26日にマツケンこと松平健が登場し、マツケンサンバを披露するシーンです。溢れんばかりの入場者。その中をマツケンらがパレードしていきます。私はマツケンと共に踊るべきか踊らぬべきか。せめて一緒に「オーレ」と体育館内にみんなの声を響かせるべきか。ジレンマに陥りながら「オーレ」と投げ掛ける事を断行!しかし、場内は、シーン。「みんなも一緒に!!」今一度、声を掛けたが、反応は、シーン。心の中は「私の言葉はみんなに つつじ てんの??」と嘆き。それでも、中盤から結びに差し掛かると、全員が顔を上げ、話を聞いていました。私の言葉は通じたようです。自分自身を分析し、自分の行動を変えることで成長しようと話をしました。

1年1組は理科で“イカの解剖”です。加工済みのイカしか見たことの無い生徒もあり、驚きの連続。外套膜を縦に切り、内臓が見えてきたときには、目を背ける人も。見たい見たくないのジレンマです。担当教員より、各部位の紹介をしました。口からピペットで醤油を流し込むと消化管



を黒い液体が走ることを確認できました。眼からは水晶体を取り出し、小さな文字が拡大されることを確認。好奇心に火が付き最後は食い入るように観察していました。

2年生は道徳です。“モラルジレンマ”について取り組みました。「3年生最後の試合。負ければ引退。真面目に毎日参加するけれど技術的には上手ではない A さん。練習をさぼりがちだが、高度な技術をもつ B さん。あなたが監督なら、どちらを試合に起用しますか?」という問いについて、意見を交換しました。いくつか紹介します。



A さんを起用	B さんを起用
・毎日頑張っている人間が報われるべき ・毎日頑張っているひとは安定して力を発揮する ・勝つことよりも大切にすべきものがある	・負けてしまったら終わり、勝たなければならない ・強いものが選ばれる ・世の中はそうになっている

道徳では、多面的・多角的に考えることによって、道徳的な判断力、心情、実践意欲を高めていくことが求められています。議論は大変白熱していました。途中で、抜き打ちの避難訓練の放送が入り、次週に持ち越し。どの様な展開になるのか楽しみです。

真剣な眼差し、前のめりの姿勢を読者の皆様にご報告しつつ、自慢の生徒であることをご報告申し上げます。

